

令和7年度墨田区立学校「体力テスト」の結果について

1 調査の目的

「令和7年度東京都児童・生徒体力・運動能力、生活・運動習慣等調査（東京都統一体力テスト）」の結果から、墨田区内の児童・生徒の体力・運動能力及び生活・運動習慣等の現状を明らかにし、児童・生徒の健康の保持・増進と体力づくりを推進する施策の改善と一層の充実を図る。

2 調査実施期間及び調査対象等

- (1) 調査実施期間 令和7年5月1日から令和7年6月30日まで
- (2) 調査対象 墨田区立小・中学校全学年児童・生徒（夜間学級を除く。）
- (3) 実施した学校

校 種	学校数	実施学校数（実施率）	学年・人数				
小学校	25 校	25 校 (100%)	1年	1,701 人	4年	1,782 人	小学校総数 10,318 人
			2年	1,709 人	5年	1,693 人	
			3年	1,750 人	6年	1,683 人	
中学校	10 校	10 校 (100%)	1年	1,300 人			中学校総数 3,911 人
			2年	1,292 人			
			3年	1,319 人			

3 調査項目

○体力テスト

- (1) 小学校
握力、上体起こし、長座体前屈、反復横とび、20mシャトルラン、50m走、立ち幅とび、ソフトボール投げ
- (2) 中学校
握力、上体起こし、長座体前屈、反復横とび、20mシャトルラン、50m走、立ち幅とび、ハンドボール投げ、持久走

4 調査結果（体力総合点）

(1) 男子

	小1	小2	小3	小4	小5	小6	中1	中2	中3
墨田区平均値（R7）	29.3	36.9	42.8	49.5	54.7	59.2	33.4	42.4	48.4
東京都平均値（R7）	28.6	35.9	42.1	47.9	53.1	58.8	33.5	41.4	48.1
都平均との差異	+0.7	+1.0	+0.7	+1.6	+1.6	+0.4	-0.1	+1.0	+0.3
令和7年度全国※					53.0			42.2	
墨田区平均値（R6）	29.3	37.3	43.7	49.6	53.2	59.8	34.8	43.3	49.5

(2) 女子

	小1	小2	小3	小4	小5	小6	中1	中2	中3
墨田区平均値（R7）	29.5	37.3	42.6	49.4	56.0	60.6	42.9	49.2	50.0
東京都平均値（R7）	28.4	35.6	41.7	48.0	53.6	59.0	42.4	46.9	49.0
都平均との差異	+1.1	+1.7	+0.9	+1.4	+2.4	+1.6	+0.5	+2.3	+1.0
令和7年度全国※					54.0			47.6	
墨田区平均値（R6）	29.9	36.9	43.6	50.0	55.9	60.5	44.1	48.7	49.5

※ 令和7年度全国体力・運動能力、運動習慣等調査報告書【スポーツ庁】（小学校第5学年、中学校第2学年実施）

5 結果の分析

小学校、中学校ともに、中学1年生男子を除く全ての学年・男女で都の平均値を上回った。
小学校では、1年生男子のソフトボールを除く、全ての項目で都の平均値を上回った。全国や都より数値が高い要因として、種目別に技能ポイントを分かりやすく解説した動画を作成・周知したことで、一人1台端末を用いて児童が視聴するなど、授業時間に限らない活用を全校で徹底したことである。さらに、児童の意欲を継続させる工夫（目標カード、運動ビンゴ等）を講じた体育月間の実施、児童集会等で調査項目を取り入れた運動遊びの提案、児童による技能ポイントを踏まえた実技披露の場の設定など、年間を通じて運動意識の向上・運動機会の増加に取り組んだことが考えられる。
中学校では、「反復横とび」、「立ち幅とび」が全学年で都の平均値を上回った。中学校も小学校と同様に種目別に動画を作成し、体力テストの実施期間より前に授業内で確認するとともに、一人1台端末を用いて生徒が自主的に視聴するなどして技能ポイントを確認した結果と考える。
一方、中学校では都の平均値を下回る項目が複数あった。その中でも柔軟性や持久力の向上が課題である。小・中学校で連携し、継続した柔軟運動の考案や実施方法の改善を図る。持久力の向上については、毎日運動する機会の増加を図るため、「体力アップキャンペーン」の参加校を増やすことで改善を図る。

6 今後の取組予定

- (1) 教育委員会事務局指導室は、本調査の結果を踏まえ、体力向上に資する取組を各学校に周知、実施の徹底をする。
- (2) 各学校において、自校の調査結果を踏まえた、令和7年度「体力向上プラン」、「一校一取組運動」の改善を図る。特に、柔軟性と持久力を継続的に行う取組の記述を徹底する。